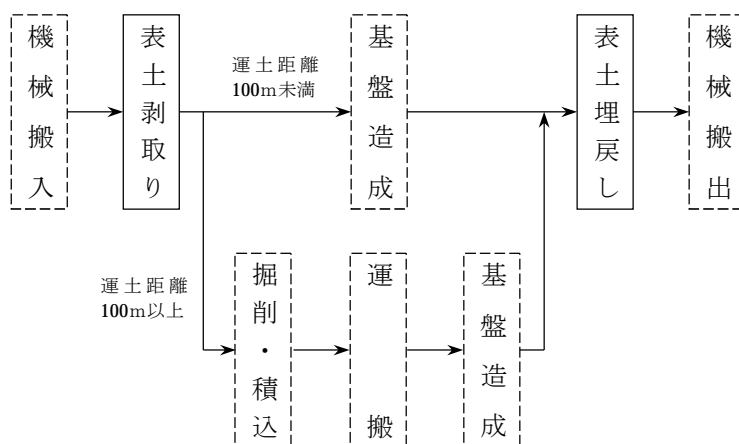


施工フローは、次図を標準とする。



(注) 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。

3 機種選定

施工機械は、次表を標準とする。

表 3-1 施工機械

機種	規格	備考
ブルドーザ	排出ガス対策型 (第2次基準値) 湿地 20 t 級	

4 施工歩掛

(1) 作業能力算定式

$$Q_6 = q_6 \times \alpha_1 \times E \quad (\text{小数第3位四捨五入2位止め})$$

Q_6 : 表土工1時間当り作業量 (地山土量) (m^3/h)

q_6 : 基準作業量 170 (m^3/h)

α_1 : 運土距離・運土量係数

E : 作業係数

(注) 算定される作業時間には表土の剥取り、集積、埋戻し及び整地の作業時間を含む。

(2) 運土距離・運土量係数 (α_1)

基盤造成工による。運土距離は次式によることを標準とする。なお、表土工運土距離は80mを最大とする。

$$\text{表土工運土距離} = \text{基盤平均運土距離} \times 0.8 \quad (\text{m})$$

(3) 作業係数 (E)

ア 基盤造成工の土質区分と同じ場合……基盤造成工と同じ値とする。

イ " 異なる場合……基盤造成工の作業条件 (標準、障害あり) を適用する。

5 単価表

(1) 機械運転単価表

名称	規格	単位	数量		備考
			剥ぎ	戻し	
ブルドーザ	排出ガス対策型 (第2次基準値) 湿地 20 t 級	h	1.0	1.0	

5 運搬作業

「B～0810 土工 3-2 土砂等運搬」の以下の条件による。

土質 : 土砂 (岩塊・玉石混り土含む)

なお、ダンプトラックによるほ場内運搬が困難な場合は「B～3080 不整地運搬車」とし、ダンプトラックに積み替えが必要な場合は、別途積込作業を計上する。

6 畑面整地作業

排出ガス対策型 (第2次基準値) 7 t 湿地ブルドーザを標準とする。

基準作業量は土質、ほ場形状に関係なく以下のとおりとする。

基準作業量=0.08 ha/h

7 排礫堆積物整理作業

「B～0810 土工 3-3 整地 残土受入れ地での処理」による。